

ひふか



# てす、呂くにちば。

2011 / 2 第76号

美深消防団出初式  
1月5日 (COM100)



## 第4回 定例会

平成21年度決算認定

2 - 3 P  
4 - 5 P

議会改革特別委員会最終報告

8 - 9 P

美深町が平成23年度からめざす将来像

# 「みんなで築く 輝くまち 美深」

平成23年度から32年度

## 第5次美深町総合計画基本構想を議決

条例制定2件、補正予算7件他も原案可決

第4回定例会は12月13日開会し、5名による一般質問の外、第5次総合計画基本構想及び過疎地域自立促進市町村計画策定について、条例制定2件、一部改正1件、補正予算7件、請願1件、各会計決算認定8件、同意1件、意見書2件が審議可決され16日に閉会した。

総務住民委員長 常任委員会の中では、今後設置後に具体化する運用等に対する要綱を定める中で対応していくことを理事者側に確認した。

### 条例制定

(総務住民常任委員会  
に付託)

内容 光ファイバー事業によるテレビ難視聴世帯、防災情報端末設備の設置及び管理に関する事項を定める条例。

▽過疎地域自立促進のための固定資産税の課税免除に関する条例

内容 過疎地域自立促進特別措置法の一部改正に伴い、製造事業、情報通信技術利用事業若しくは旅館業の用に供する機械及び装置並びに事業に係る家屋を新設、増設したものについて、3ヵ年度分の固定資産税に限り免除する条例。



進む光ファイバー敷設工事

### 計画策定

▽第5次美深町総合計画基本構想について

昭和46年から10年間を計画期間とし4次にわたり計画を策定して

▽美深町過疎地域自立促進市町村計画について

地方6団体・過疎地域自立促進連盟等の関係団体が、国に対して過疎地域自立促進法の延長を要望した結果、改正過疎法として6年間延長になり、平成27年度までの美深町過疎地域自立促進市町村計画を立てるものである。

質問 過疎計画の中に小中学校の給食問題を盛り込む考えはなかったのか。

▽美深町情報通信基盤施設の設置及び管理に関する条例

**副町長** 今回の過疎計画には盛り込まれていない。

総合計画の基本構想・

基本計画の中の文言としては給食問題を取り上げているが、実施するしないでなく環境が変わつてきているので、今後議論はしていくつもりである。

り、歳入歳出それぞれ  
2億3、466万円を  
追加し総額45億8、8  
65万円となる。

質問 COM100舞

台の吊り物装置改修はどの程度の規模か、全面か部分改修なのか。

教育次長 保守点検等の施設の安全管理を行つてきたが、既に10年が経ち耐用年数も過ぎているため全体的に交換修理を行う。

## 条例の一部改正

▽美深児童館条例の一  
部を改正する条例

内容 「美深北児童館」を「美深児童館」に改める。

質問 仁宇布の山村留学は親子留学が非常に希望が多い中で、自治会が民家を直して親子留学を誘致したいという希望があるが、考えを伺う。

教育次長 今年度も一定程度昨年より多い希望や、問い合わせがあ

## 補正予算

平成22年度一般会計  
補正予算（第5号）は  
国の交付金の追加決定  
と臨時財政対策債の決  
定に伴う増額補正であ

現在空いている町有住宅や職員住宅の状況をみて、最大限の受け入れを考えいく。

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	43億5,399万円	2億3,466万円	45億8,865万円

### （主な補正内容）

国庫補助事業工事請負費1億2,030万円

公共施設整備基金積立金9,700万円

文化会館舞台吊物装置改修工事請負費1,386万円

障害者自立支援特別対策事業負担金・補助金470万円

## 補正予算の概要

質問 職員給与費の時間外等について76万円の増額の原因は何か。

総務課長 今年5月と7月にそれぞれ大きな災害等があり夜間に職員が見回った事によるもの。

国民健康保険特別会計	7億6,858万円	1,429万円	7億8,287万円
後期高齢者医療保険特別会計	5,910万円	57万円	5,967万円
介護保険特別会計	4億5,263万円	3,142万円	4億8,405万円
簡易水道事業会計	3,840万円	△65万円	3,775万円
下水道事業特別会計	2億3,450万円	△2万円	2億3,448万円
水道事業会計	4,678万円	600万円	5,278万円

## 臨時会

第4回臨時会は11月30日に開催され理事者提出の工事請負契約の締結について1件、条例の一部改正2件について審議可決された。

## ▽工事請負契約

内容 ウルベシ橋下部工建設工事（その2）、既存橋解体、新設橋設置、護岸工

契約金額 59,745千円

内容 町長、副町長、教育長及び議會議員の期末手当について職員の期末勤勉手当の改定との均衡を考慮し、支給月数を0・2カ月引き下げる改正。

▽美深町長等の給与に関する条例等の一部改正について

により、俸給月額を高齢層職員に限定して引き下げる、期末勤勉手当について、支給率を0・2カ月分引き下げる改正。

固 定 資 産 評 價 審 査 委 員 会  
委 員 の 選 任 同 意

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に園部一正氏の再任に全員一致で同意した。



内 容 国の人事院勧告

▽職員の給与に関する条例及び職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について

質問 職員の改定ながらに町長等の改定による減額はどれ位か。  
総務課長 職員の減額は約810万円、町長等の減額は約90万円。

# 平成21年度決算を認定



平成21度各会計決算は、一般会計ほか6特別会計の決算総額は70億8,306万円、水道事業会計では9千31万円の決算となつた。

## 一般会計

歳入で54億9,080万円、歳出で52億8,961万円の決算額となりたが、厳しい経済環境の中で国の交付金を財源とした地域活性化対策事業、美深小学校改修事業や道補助金を受けながらの町民体育館改修雇用促進事業などを実施し、効率、効果的な予算執行に努めた結果、繰越明許費を除くと実質収支で1億8,400万円の黒字決算となつた。財源構成比では、町税等の自主財源が15・円増)。



今泉決算委員長

## 特別会計

6会計のうち国保会計では、歳入8億318万円(前年度比4,073万円減)、歳出で7億7,519万円(前年度比6,720万円減)となり差引余剰金は2,799万円である。高では基金(貯金)は21億8,530万円(前年度比1,900万円減)、更に備荒資金では7億3,800万円(前年度比7,100万円増)。

### 後期高齢者医療保険会計

## 平成21年度各会計決算額

	入ってきたお金	使ったお金	差引
一般会計	54億9,080万円	52億8,961万円	2億119万円
国民健康保険特別会計	8億318万円	7億7,519万円	2,799万円
後期高齢者医療保険特別会計	5,425万円	5,424万円	1万円
老人保健特別会計	269万円	260万円	9万円
介護保険特別会計	4億1,533万円	4億1,201万円	332万円
簡易水道事業特別会計	5,039万円	5,039万円	0円
下水道事業特別会計	2億6,641万円	2億6,641万円	0円
上水道事業会計(収益的)	9,031万円	7,036万円	1,995万円
〃 (資本的)	938万円	3,564万円	△2,626万円

平成21年度決算審査特別委員会(今泉常夫委員長)が11月4・5・8日の3日間の日程で開かれ、平成21年度一般会計ほか6特別会計並びに水道事業会計は審査の結果「認定すべきもの」と決した。

## 決算審査の質疑

### 衛生費

質問 美深厚生病院の医師体制状況は。

答弁 厚生病院としては2人体制で代替職員が派遣されている。

質問 町税未収金に対する町の対策の考えは。

答弁 町税等の未収は対策本部組織を設け対応。



大雨に備える排水樋門

### 農林産業費

質問 試験展示圃で作物に対する試験をしているが結果報告は。

答弁 試験圃では8種目の試験をし、成績については一定の報告をしている。

質問 重度身障者・障害者自立支援等色々負担金の支出があるが障害度率の把握はされているのか。

答弁 福祉制度に関する支出の部分については、福祉法、自立支援法などの国の法律に基づいて支出している。

### 民生費

質問 重度身障者・障害者自立支援等色々負担金の支出があるが障害度率の把握はされているのか。

答弁 福祉制度に関する支出の部分については、福祉法、自立支援法などの国の法律に基づいて支出している。

質問 積み立てされている備考資金の考えは。

答弁 備考資金は、災害等、将来の財政負担に対応できる財源としている。

質問 介護予防事業で各戸から考え方を聴取しているが、回収率は。

答弁 生活機能調査と言った事でアンケートを出した、回収率は民生委員の方々の協力を得て高い回収率となつた。

質問 耕作地の緩衝地帯、山里整備を農業振興策に取り入れないか。

答弁 山里整備では、土地条件等により厳しい。

質問 総合整備事業で一部取り組んできた。

答弁 大雨時の樋門の開閉については、通常排水樋門ゲートは下げる。

### 総務費

質問 町税未収金に対する町の対策の考えは。

質問 町税等の未収は対策本部組織を設け対応。

### 農林産業費

質問 試験展示圃で作物に対する試験をしているが結果報告は。

質問 試験圃では8種目の試験をし、成績については一定の報告をしている。

### 教育費

質問 保険証は保険料の滞納に伴い資格者証等で交付している状況。

質問 国の政策で、緊急対策の介護従事者処理。

### 介護保険特別会計

質問 遇改善を町としてどのように考えているのか。

質問 国の制度といふことで、本町としてもその制度に乗つて進めること。



質問 建設中の児童館で放課後児童クラブを一体化に出来ないか。

質問 人口5,101人 世帯数2,403世帯（H22.3.31現在）で算定

質問 保険税の滞納者に対し保険証の停止等の状況は。

### 町民1人当たり使われたお金は（一般会計）

	町民1人あたり	1世帯あたり
一般会計 52億8,961万円	103万7千円	220万1千円
まちの借入金 48億9,971万円	96万5千円	203万9千円
まちの貯金 21億8,530万円	42万8千円	90万9千円

※参考、H22.12.31現在は人口5,080人、世帯数2,404世帯

# 答員会レポート

総務住民常任委員会

11月17日

美深育成園の改築について

行政機関としての事前協議経過

①整備に係る経過  
平成21年1月20日に

生活環境整備に係る改

修工事に対する町費助

成の要望、創設以来50

年を経過、上部指導機

関からの指導を受けト

イレ等の改修するもの。

また、8月13日、育

成園の改築整備に対す

る町費助成の要望、国

において策定され「経

済危機対策」で、社会

福祉整備に対する特別

補助制度が平成21年度

から平成23年度の3カ

年間の期間限定で創設

されたことに伴い、本

制度を活用して改築整

備するもの、改築に向

けて「美深育成園園舎

改築期成会」を立ち上



改築が待たれる美深育成園

②資金対応と調達方法  
整備資金計画については、総事業費5億円で改築工事費4億1、664万1千円、解体工事費2、500万円、児童会館改修費2、900万円、設計費他経費2、939万円の事業。

げ11月27日に設立発会式、その後上川総合振興局・道等へ陳情。今後のスケジュールとしては平成23年4月、

美深育成園施設整備計画決定・補助申請、同年5月、施設整備工事着手、翌年3月、美深育成園施設整備完了の運びとなっている。

▽工事費に対し国・道補助、耐震化補助金により3億2、718万円  
▽借入金1億4、500万円

償還金に対する債務負担行為は平成24年度、平成38年度の14年間。

償還金に対する債務負担行為は平成24年度、平成38年度の14年間。

△町の対応  
美深育成園運営は本町の各学校運営にも大きく影響し、人口削減の防止、更に雇用確保等町内の経済効果に大きく貢献されていることを踏まえ、国が策定した「経済危機対策」の一環である社会福祉施設整備に特別有利な補助制度（平成21年度～23年度時限立法）を活用して前面改築する。

美深育成園施設整備事業支援については、具体的な協議は行なっていないが、機構借入

金の相当額を中心とした方向で支援の検討をする。

調査のまとめ

美深育成園施設の整備に関しては、これまで2回の所管事務調査を実施しているが、今回をもって本事件の調査は終結とする。

特に本年9月30日付け美深町議会議長宛の「児童養護施設美深育成園施設整備事業に対する支援要望書」の内容等調査を踏まえ、同施設整備事業に対しては、町費助成支援を前向きで対応すべきことを再確認した。

# こんなこと調査しました

産業教育常任委員会

11月16日

## 鳥獣被害対策について

▽電気牧柵設置状況  
平成22年度の電気牧柵設置状況は、町内7営農集団で、今年は5営農集団が設置、箇所は114箇所、総延長は115キロメートル

が設置され、電気牧柵設置後の圃場内での工ゾシカの被害はほとんど無い。  
また、電気牧柵未設置の部分については昨年からとの変動は無い状況だが、今後の状況についてはわからずところから明年に向けては未設置の集団で検討していく。

協議会が開催され今後のスケジュール等について協議、意見交換し、年内に方向性を打ち出すこととなつた。



成果があつた電気牧柵

## 調査のまとめ

鳥獣被害状況については、7営農集団の電牧設置等により昨年の被害状況を見るとほとんど無かつたとのこと、成果が現れているが未設置の部分への出没が年からとの変動は無い状況だが、今後の状況についてはわからずところから明年に向けては未設置の集団で検討していく。

懸念されることから、明年に向け、鳥獣被害防止対策協議会でさらなる検討が必要。

## 公営住宅入居状況と整備状況について

▽町が管理している特公賃を含め332戸を管理をしているが、11月15日現在の公営住宅入居状況は、空き住宅が公営住宅西団地で1戸、特公賃住宅で1戸の状況となっている。

▽公営住宅の整備については新ひまわり団地建設すべて終了し、改修工事についても2ヶ年計画で行なつた。

この後は高齢化が進むことを踏まえ総合計画に盛り込む考え。

## 調査のまとめ

公営住宅の入居状況は、調査の時点では2件の空き、入居希望者の申し出もあるとのこと。

また、町外に入居されていると聞く、この



改修された公営住宅

## 旧恩根内小学校の利用状況

▽旧恩根内小学校の利用状況は現時点で、芸術活動と地域情報に向けた準備のため木工クラフト工房を整備。

また、地域住民が集まる場所、地域要望ができる場所、地域要望か

## 調査のまとめ

旧恩根内小学校の活用は、地域の方々の集う場として活かされているとの事から利用状況は大変良いと思われるが、保健所の許可を受け軽食メニューなども設置、管理者としての対応が必要。

# 議会改革特別委員会 最終報告

議会傍聴者へ議案資料提供等をまとめ12月定例会で報告

美深町議会は、今求められる議会のあり方、委員会制度等美深町議会の改革を進めることと、活性化に資することを目的に「議会改革特別委員会」が平成21年3月17日の定例会で議長を除く12名の議員で設置され、部会、特別委員会で議論を重ね平成22年12月13日第4回定例会で最終報告した。

## 調査研究の概要と結果

- 【議会基本条例制定】
  - ・制定しない。  
(以下議論の経過)
    - △必要・積極的意見
      - ・町民や理事者に対する約束ことをすべて公開し、それを議会が守るという考え方を制定すべき。
      - ・基本となることは条文化すべき。
    - △必要ない・慎重意見
      - ・基本条例に取り組んだ自治体の成果を見極める必要ある。
      - ・議会個々の部分に対してルールを決めるのであれば基本条例以外でもできる。
      - ・時期尚早である。
  - 【所管事務調査】
    - ・平成22年8月4日、長側と協議。
      - ・所管事務調査において、調査内容によっては所管の範囲を超えることが必要な場合、予め関係する部局の説明員の出席を要する旨の申出をすれば、対応するとして町長から回答を得る。
  - 【会派】
    - ・政務調査費交付条例制定の際に会派を位置づけは同条例第2条及び3条のとおり。
    - ・要綱第6条の「前条の」を削除する一部改正(平成22年4月1日施行)
    - ・今年度は平成22年11月26日に昼夜2回、COM100で「議会と町民との懇談会」を実施した。
  - 【道外視察】
    - ・従来どおり要綱第5条による。
    - ・議会主催の意見交換会、議会報告会、町政懇談会については毎年実施する方向で決定。
  - 【議会主催の意見交換会、議会報告会、町政懇談会】
    - ・議決事項にするならば、対案が必要。
    - ・予算決算の各委員会審議や計画変更に係る全員協議会のあり方など、現状を考えるとき大きな課題はない。
  - 【議員定数の改正】
    - ・平成22年第1回定例会において中間報告済み。定数11名。
    - ・要綱第6条の「前条の」を削除する一部改正(平成22年4月1日施行)
    - ・今年度は平成22年11月26日に昼夜2回、COM100で「議会と町民との懇談会」を実施した。
  - 【議員報酬の改正】
    - ・報酬審議会による。
  - 【議会の議決事件の追加】
    - ・議決事件として追加しない(以下議論の経過)
      - ・町民に対する10年の約束であるから議決した。
  - 【政務調査】
    - ・6-1-2に付記。
  - 【議員報酬】
    - ・議員定数の改正
    - ・議員派遣の承認を要する。
    - ・本会議では管外視察の結果報告を行う。
  - 【議員の会議前の会議資料の会議前の公開】
    - ・本会議前は議案書でないことを踏まえた上で、取扱いは議員の良識の範囲とする。
  - 【議案書の本会議前の公開及び議案書以外の会議資料の会議前の公開】
    - ・本会議前は議案書でないことを踏まえた上で、取扱いは議員の良識の範囲とする。
  - 【首長等の反問権】
    - ・平成22年8月4日、長側と協議。
  - 【反問権】
    - ・反問権は町長及び教育長に付与している。
    - ・行政委員会などの委員長等にも付与するとした考えをしめたが、長側は不要とした。
  - 【傍聴者への資料提供】
    - ・定例会及び臨時会の議案及びそれに付随する資料を傍聴席に5部用意する。持ち帰りはできない。

## 【本会議及び委員会における議決の賛否の公開】

- ・議員の賛否は公開しない。

## 【一般質問のその後の調査及び公表】

- ・議員個人が行うものであり、その後の調査を議会は行わない。

## 【議会広報】

- ・光ファイバー敷設に伴い、防災端末およびインターネットを活用した議会の動画配信に関し、理事者と協議の必要あるが「設置の方向」としました。

## 総括

以上、調査項目に関する結果であり議会改革検討課題の基本事項については一定の精查ができたが、議会改革の具現化については、新たな議員の責務としてその進展を強く期待するものである。

## 町民の皆さんと議員との懇談会



多くの意見を出された懇談会

少子高齢化とまちづくりについてをテーマに、平成22年11月26日昼・夜の部の2回、懇談会がCOM100で開催された。

少子化に対する懇談会に対応してほしい。

- ・高齢者も、自分のことは自分で自立の気持ちをもたなければと思う。

少子化対策は、子育て支援をより充実して家庭環境も整える必要がある。

- ・若いカップルの誕生に対策を。

医療福祉関係について

- ・美深厚生病院があるが、名寄市立病院に通院している人が非常に多い。

△高齢化について

- ・生涯現役を目指して頑張っているひとも居る。
- ・独居老人が増えつつあり、住居や交通の便

△少子化について

- ・働く場が確保されない。



地場産業死守を訴える参加者

## 請願書を採択

### 政府のEPA基本方針に関する請願

#### 政府のEPA基本方針に関する請願

現を目指すと言つこ  
れまで基本方針を堅  
持し、国内農業、農  
村の振興を損なわな  
いよう対応すること。

第4回定例会において産業教育常任委員会に付託された「EPA基本方針策定に関する請願」を委員会から審査が終了した旨の報告を行った。

EPA基本方針策定について、北海道農業のみならず、関連産業や地域社会、美深町における主産業の壊滅的打撃を与えるなど影響が大きいなどから、全員賛成でこの請願を採択することに決定した。

2、農業・農村の多面的機能の発揮や食料安全保障の確保を図るなど日本提案の実行はない。

3、包括的経済連携協定においては、「食料・農業・農村基本計画」に基づき、食

の安全、安定供給、食料自給率の向上、

国内農業、農村の振興を損なうことは行わ

ないよう等の基本方針を貫くこと。

請願者 北はるか農業協同組合代表理事組合  
長 中瀬 省  
紹介議員 倉兼政彦議員

# 意見書を提出しました

## 地域の声を国へ

TPPへの参加を行わないよう求める意見書

北海道農業は、我が国最大の食料供給地域として、米、小麦、馬鈴薯、てん菜、酪農等を中心した農業を展開、専業経営を主体に良質な農産物の安定供給を進め、本道水産業においても全国の約2割弱を生産し、国内の食料自給率の向上に寄与している。しかし、22年11月9日

日に閣議で「包括的経済連携に関する基本方針」で関係国との協議を開始するとしたTPP協定は関税が原則100%撤廃である。

仮に、重要品目の関税撤廃の例外措置が認められない場合、本道農業ですら米国、豪州などと比べ格差は構造改革努力で埋まらない、戸別所得補償で農家所得を確保しても農業生産を継続が困難と危惧される。本道基幹産業が

将来にわたり地域を支え、発展するに次の確固たる姿勢で交渉に臨むよう強く要望する。

記

①国際貿易交渉に当つては「多様な農業の共存」を基本理念として、日本提案の実現を目指すというこれまでの基

本方針を堅持し、食の安全、安定供給、食料自給率の向上、国内農水産業、農漁村の振興などを損なわないよう対応すること。

②TPPを含め包括的経済連携においては、米や小麦、澱粉、砂糖、牛肉、乳製品等の重要品目に主要水産物を関

税撤廃の対象から除外すること。  
③道民合意がないまま、関税撤廃を原則とする

TPPへの参加を決して行わないこと。

提出者 菅野勝義議員  
賛成者 南和博、越智清一、諸岡勇、林寿一、庵宗訓  
各議員

提出先 衆・参議院議長・内閣総理大臣・内閣官房長官・外務・農林水産・経済産業各大臣

北海道開発の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する意見書  
北海道は、積雪寒冷

で広大な面積を有する自然条件であり、都市間距離が長く広域分散型社会で高速交通ネットワークや道路網など、社会資本の整備充実が地域発展に欠かせない。

トワークや道路網など、社会資本の整備充実が地域発展に欠かせない。

23年度の国土交通省の組織見直しに関し、北海道局廃止の報道がされ、道民に衝撃と困惑を与えた。国土交通省組織、定員について

国際局の新設が要求されており、北海道局の廃止の不安を払拭することはできない。

社会資本整備が遅れている北海道の枠組みは堅持されるべき、道

弱な地方の切捨てに繋がり、道開発の比重低下が予想される。

これ以上公共事業の削減は、北海道内の景気が更に低迷する。

我々は、将来的北海道開発を担う北海道局の存続と北海道開発の枠組の堅持を強く求め

提出者 南和博議員  
賛成者 菅野勝義、越智清一、諸岡勇、林寿一、庵宗訓  
各議員

提出先 衆・参議院議長・内閣総理大臣・財務・国土交通各大臣

北海道は、積雪寒冷

## 5人の議員が施策を問う

# 一般質問席

小口英治議員  
菅野勝義議員  
諸岡勇議員  
南和博議員  
林寿一議員

## 一般質問



小口 英治 議員



浴室の安全対策に万全を

- 1 老人憩の家の管理体制について
- 2 町及び町が補助している団体等が発注する物件と地場産業の育成について

## 問 憩いの家の管理、設備等万全か

### 答 早い時期に改築の抜本対策を考える

質問 憩いの家入浴日平均入館者27名と美深温泉75歳以上平均入館者39人の考え方および浴場内での緊急連絡時の課題、蛇口周りに手すり等安全対策は万全か。

町長 旭湯等もあるがそれなりに有効利用いただいている、入浴は原則2人で体調等すぐれない時は即管理人に連絡頂き緊急措置・連絡するようにしている

町長 これから検討で具体的には言えないが次期の総合計画で優先順位としては高い。

質問 22年から27年までの過疎地域自立促進市町村計画では、高齢者福祉施設高齢者生活福祉センターが計画されているが、今の時点でどの様な事を目指しているのか。

出来ることなら町の中心部に移動の考えもあるし、複合的なことも検討しなければならない。

## 問 町内関連産業の維持、購買率の向上をどう図る 答 町、業界、業者共々の努力が必要

質問 平成20年商業環境の悪化について質問したが、一向に改善の兆しあえ見えず危機的状況、美深福祉会では

町長 今実施している快適住まいづくり、住

厚生病院同様給食の外部委託の計画で、地産地消同様、地域内で消費と供給がバランスよく繰返す方策が必要で公共事業も地場産業の育成とそれによる地元経済の牽引役の役目も重要な事と認識しているが、町が補助金を出している団体等が発注する物件に対し町指導のもと、町内関連産業の維持、町内購買率の向上に向け更なる努力が必要ではないか。

請け負った町内業者さうには町外業者であつても地域のことを考慮し町内購買意欲の向上の観点からプレミアム商品券等で対処している。

業界、商店街についても優先的に考えてほしいとお願いしている。



購買率高めるプレミアム商品券



菅野 勝義 議員

- 1 鳥獣被害対策について
- 2 公営・町営住宅の施設整備改善について
- 3 少子高齢者の対策について
- 4 教育と施設のあり方について

**問 鳥獣被害対策は**

**答 山間の見極め困難**

質問 鳥獣被害による被害額は、昨年度農作物で2,800万円の被害、今年度は各営農集団で電気牧柵を11.5km整備し、被害はほとんど無い。農地に接している山里・山林の総キロ数は。

町長 本年度は、牧柵の設置に2分の1補助対策、各営農集団では圃場内の牧柵が11.5kmされている、山里が農地に接している部分は18.0kmで山里の周りは20km程度と思う。

**問 国政予算**

113億円

**答 埋立処分場に埋設**

質問 11月の国会で、鳥獣の予算が倍増された。ハード・ソフトの部分において国2分の

質問 各住宅の設備・備品で、管理者・個人持ちと色々有る、アンテナは既に個人で設置され、苦情も出ている、今後の対応は。

1の補助で事業が可能、鳥獣焼却施設の考えは。

町長 町・公営住宅につけた、各年度により異なる。ボイラー等は2カ年で改修工事をした、個人設置のアンテナについては早急に対応していく。

町長 我が町は、ゴミ捨て場にシカを埋設するスタイルをとっているが非常に心配、処理施設があれば一番良いと思うが我が町だけで

は困難、近隣と歩調を合わせて行きたいと考えている。

**問 公営・教員住宅の地デジ対応は**

**答 早急に検討**



共同アンテナ状況

**問 少子・高齢者対策は**

**答 検討し整理**

質問 わが町の未成年人は、人口に占める割合が14・5%で少子化が進む。このような実態を踏まえ若者が残れるような政策、6次産業などの設置の考えは。また、高齢者対策については健康が一番大事であることから、高齢者住宅と健康を維持できる複合施設と公衆浴場を取り入ながらの総合施設の考えは。

教育長 教員住宅については、ボイラーエquipmentはすべて建物の設備、アンテナについては建物の設備、個人設備で扱われていた部分もある、統一した考え方で整理をしていきたい。

町長 少子化対策については若干層だけなく雇用に結びつくよう地場産業の育成に努めたい。

高齢者対策は、居住するところと集会施設、浴場は分けて考えるべきで、今後検討する。

質問 現在は地元の子どもが通える学校と中高一体型の教育施設の考えは。

教育長 現在は地元の課題として検討している。



## 一般質問



諸岡 勇 議員

- 1 自然災害からの被害を防ぐための対策について
- 2 過疎地域自立の考え方を伺う

質問 平成15年作成ハザードマップの有効性、住民浸透度、体育館の避難場所が大学教授に不適箇所で新生コミセンに変更の必要が指摘されたが考えは。

また、特養・養護学校など地盤の低い場所など防災面から関係機関との連携はどうか、天塩川の床下げ、流水

質問 平成15年作成ハザードマップの有効性、住民浸透度、体育館の避難場所が大学教授に不適箇所で新生コミセンに変更の必要が指摘されたが考えは。

また、特養・養護学校など地盤の低い場所など防災面から関係機関との連携はどうか、天塩川の床下げ、流水



質問 過疎地域の自立促進計画法が23年度から6年延長で措置されるが、高齢者との共同住宅か、福祉対策としての活動センターがいかの考えは。

美深町は65歳以上が1,762人、34・6%の高齢化の町、他市町村から高齢者を受入れする自立した福祉のまちづくり宣言の考えは。

質問 高齢者活動センターが老朽化しており、早い時期に対応したい。福祉の町であることは常日頃から伝しているが、特に老人クラブCOMカラッジ大学、ボランティア組織など活躍がある。

高齢者福祉受け入れの町宣言についてまちづくりの中を考えたい。

## 自然災害から

### 被害を防ぐ対策は

#### 答 ハザードマップ

#### 家族会議などで活用を



もしものための備えは大丈夫？

有効利用されたい。  
火災、風害を想定し  
た職員の勤務体制や、  
消防・警察・河川管理者・気象台民間企業の  
連携協力体制、災害を  
想定しての資材調達な

切れない。  
天塩川は管理が国、  
順位の高いものは道、  
堤防敷地内管理に環境  
に配備された対策がな  
されていると考へてい  
る。

町長 7年前に全世帯に配布したハザードマップは、開発建設部、道もと作成され、美深町の浸水予定範囲を超えるなど避難場所を解り易くまとめてあるもので、命、財産を守るためにもの。自治会単位の防災研修に活用されており、

避難場所は、今の段階で最善と思う、老人ホームなど浸水時、心配の向きで絶対と言いどを整備。

高齢者活動センターは、命、財産を守るためにもの。自治会単位の防災研修に活用されており、

町長 高齢者活動センターガが老朽化しており、早い時期に対応したい。福祉の町であることは常日頃から伝しているが、特に老人クラブCOMカラッジ大学、ボランティア組織など活躍がある。

高齢者福祉受け入れの町宣言についてまちづくりの中を考えたい。

#### 答 第5次総計前半で建設を

#### 問 高齢者向け住宅建設は

#### 答 第5次総計前半で建設を

#### 問 高齢者向け住宅建設は

質問 過疎地域の自立促進計画法が23年度から6年延長で措置されるが、高齢者との共同住宅か、福祉対策としての活動センターがいかの考えは。

美深町は65歳以上が1,762人、34・6%の高齢化の町、他市町村から高齢者を受入れする自立した福祉のまちづくり宣言の考えは。

質問 高齢者活動センターが老朽化しており、早い時期に対応したい。福祉の町であることは常日頃から伝しているが、特に老人クラブCOMカラッジ大学、ボランティア組織など活躍がある。

高齢者福祉受け入れの町宣言についてまちづくりの中を考えたい。



- 1 子育て支援と給食事業への取組みについて  
2 町有財産の有効活用と遊休財産の利活用について

南 和 博 議員

**問 今も多い給食実施の声**

**答 条件整えば検討したい**



今まで何度も議論となってきたが、〇一五七による食中毒問題や施設整備の財源問題などで白紙状態にあるなか、まちづくり懇談会等いくつかの会合で町長から給食実施に前向きとも取れる発言があ

質問 わが町においての子育て支援策は直接的・間接的に様々に打ち出されているが、最も多い要望は給食の実施である。

今まで何度も議論とあつたと聞く。

山口町政1期目の最終年また、第5次総合計画策定のこの時期にそのような発言をされた真意を伺う。

**問 無駄のない財産管理を**

**答 行革計画に基づき対応**

町長 学校給食は重い問題であるがもう一度原点に帰って、要望含めて大事な話であることを率直に受け止めて、どうすることが適當か

といふことをもう一度問い合わせたい。

学校給食は現状でいいのだということにはならないと考えております。色々な諸条件が整えば前向きに検討したい。期待の大きいことは重々認識の上で、要望に素直に応えると言うことも、私の責任と考えながら話題にしてい



利用を期待されている温室

町長 行政整備の節減という視点に立って遊休資産施設の処分を推進してきた。譲渡先等々で有効活用されている認識、解体処分した物もあり経費節減してい

質問 町有施設・財産等が十分に活用、または活用されず遊休化しているものはないのか。

また、総体で71台ある車輌の管理経費削減に、リース化するなど

の方法は検討できないのか。

さらには、遊休財産の民間払い下げで管理経費削減と町民還元も検討しては。

車輌管理についてはリース化の試算はないが低燃費車や軽自動車に変更して経費削減している。自動車保険についても全国の自治体が加盟している共済保険が低料金で保障についても問題ない押さえ

質問 農協の振興計画にある実習農場構想に

農業振興センターを利用し、それにより実習生や担い手の研修センターとして位置づけ有効利用することも検討すべきでは。

**問 農業振興センターの有効活用を**

**答 農協と共通認識を持ちたい**

## 一般質問



林 寿一 議員

- 1 第5次総合計画と新年度予算、関連性と編成要点について
- 2 町内交通整備の方策について
- 3 町内公衆浴場の維持について

### 問 第5次総合計画と 23年度予算の関連は

#### 問 市街地交通の充実を

答 今後2回の試行まずは  
仁宇布線

町長 住民の足をどの

しかし、時期的な必要性に合わなかつたのか停留所の場所の見極めが悪かったのか、目的地までの時間のかかり過ぎか利用度が低かつた。他の方法での交通弱者に早急な対策を講ずべきでは。

まずは、仁宇布線、1月からデマンド方式で対応する。協議会には、町内運行業者も参加している。

質問 第5次総合計画  
今後10年の財政計画の  
流れの中で初年度と、  
23年度予算との関連を  
伺う。

町長 新年度は、第5  
次総合計画のスタート  
をするわけで、前期の  
3年～5年は積極的な

取り組みを考えている。  
それに新年度は、選挙  
の年でもあり骨格予算  
となる。

また、過疎計画とも  
絡まって、どう財源措  
置していくか、特に子  
育てや高齢者の部分に  
ついてはそれぞれの対  
策をとと考えている。

質問 10月1日から48  
日間市街地コミュニティ  
バスの試験運行が行わ  
れた。

ようすに支えるか大きな  
問題である。

関係者と協議の上の  
実証試験であったが、  
時期の問題、路線設定  
の問題、バス停の問題  
など、それぞれの問題  
があつたのかと参酌し  
今後2回ほどの試行を  
考へている。



町の唯一の公衆浴場

### 問 公衆浴場・補修・改善は即 大事なことは認識

#### 答 23年度まずは骨格予算

23年度まずは骨格予算

質問 町内の公衆浴場  
は既に創業80年をみて  
いる。

その間、幾度かの補  
修改善がされたが、浴  
槽タイルのひび割れ、  
床面の傾き等早急の修  
繕が不可欠である。個  
人営業での改修の補助  
をするのか、別の方法  
を取るべきか。

高齢者、単身赴任者  
等の利用もあるので、  
とにかく維持しなけれ  
ばならないのでは。

現経営者の考え方を  
踏まえての最終的な整  
理をしていくことにな  
ると思っている。

現在、公衆浴場に補  
助支援をしていること  
もご理解いただきたい。

町長 創業80年を経過  
の建物であるとの認識  
はある。利用者はあま  
り多くはなく10人くらい  
のものと聞いている。  
これがなければわが町  
としては困るというこ  
とも認識している。

実証試験であったが、  
時期の問題、路線設定  
の問題、バス停の問題  
など、それぞれの問題  
があつたのかと参酌し  
今後2回ほどの試行を  
考へている。

まずは、仁宇布線、  
1月からデマンド方式  
で対応する。協議会に  
は、町内運行業者も参  
加している。

# 私たちのメッセージ



第5町内会 山田由起子さん

第4町内会 繁纈 功さん

数年前から、私達は第5町内会女性部の行事の一つとして毎年議会を傍聴させていただいております。最初どこでどの様にして議会が開かれているのかも知らず、まったく私などには関係のない事と考えておりました。

この頃は少しずつですが議員さんの質問などもわかるかな?という感じで聞いています。いろいろ町民の生活、暮らし等、議員さんは細部にわたって質問す

今年は、町長及び町議の選挙が有りますが自分が投票した方がどの様な質問や要望をしているか一度傍聴してはどうでしょうか、私も

年に数回議会を傍聴させてもらっていますが、いつも4、5名程しか居ません。たちが傍聴に来られていますが、もう少し一般の方も傍聴してくれたら良いと思うのですが、特に

てもう少し

## 町政に关心を

出来的限り傍聴させていただきます。

何でも議員の方や町職員の方たちに任せるのではなく皆さんも町政にもう少し

向に任せるのではなく皆さんも町政にもう少し

に思つたのですが議会の進行上無理だと思いますが傍聴席からも質問や要望が出たらと思いましたが無理ですね。どこかの町では、受けているとか。最後に議員さん及び職員の方がた、これからも宜しく

全国的には大雪の傾向にあります。美深のこの降雪の少ない状況に、冬らしさがないとか作物に影響する夏の天候が心配との声も聞こえます。今年は、何事もなく良い年になつてほしいと祈るばかりです。

関心をもつて参加して協力していけば今以上に住み良い美深町になるのではないかと思いますが。

それから傍聴している時

のですが、山口町長はじめ教育長などの答弁を私はドキドキしながら聞いておられます。その都度的確な答弁をしていく姿にとても感銘しています。

な心の葛藤と闘いながら、デイサービスやショートステイにお世話になって、用事が出来た時はお願いできる安心感で本当に心強く思ひ感謝しております。

近年は、財政的に大変な時代と思いますが、町民の為に一生懸命議論されている姿を皆さんも是非傍聴してはいかがですか。

私たち編集委員も、一年の任期を終え交代になります。皆様にペジを開いていただけるよう心がけましたが、果たして十分であつたのかと、反省のしきりです。

これからも、「議会です、こんにちは」をよろしくお願いします。

## 編集後記

副委員長  
今泉常夫  
菅野勝義  
委員長  
齊藤和信

広報編集委員会  
諸岡 勇

村山 真

これからも、「議会です、こんにちは」をよろしくお願いします。